

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 25 No.11 2023年6月15日

製品・サービス動向-国内

■レノボ・ジャパン：オンライン会議の体験をさらに高める「Microsoft Teams」デバイスを発表

（6月6日）

レノボ・ジャパン合同会社 (<https://www.lenovo.com/jp/ja/>)（東京都千代田区）は、より快適な「Microsoft Teams」会議体験を実現する Microsoft Teams 向けデバイスをリリースする。

発表されたデバイスは、オンライン会議に不可欠なカメラ、マイク、スピーカーを一台に凝縮した USB Type-C 接続対応のモニター「ThinkVision T27hv-30」、対応する ThinkVision モニターにカメラやスピーカー機能を追加するカメラ、オーディオアクセサリ、そして単体でも Microsoft Teams 会議の参加が可能な「Microsoft Teams Displays」をプリインストールした「ThinkSmart View Plus」。

ThinkVision T27hv-30

ThinkVision T27hv-30 は、Windows Hello 対応 IR カメラ、デュアルマイク、ステレオスピーカーを搭載した Microsoft Teams 認定の 27 型モニター。



ThinkVision T27hv-30（レノボ・ジャパン）

高解像度 QHD（2560x1440）In-Plane Switching 液晶に、三辺狭額縁の省スペース設計。カメラは 5MP 高解像度に対応する他、Windows Hello による顔認証をサポートし、カメラのレンズを物理的に覆うプライバシーシャッターを搭載している。マイクは約 2m の範囲で集音し、ステレオスピーカーは 5W x 2 でフオンブースなどからのオンライン会議参加に十分な音量を提供する。

また、HDMI、DP 入力端子に加え USB Type-C ポート搭載のデバイスとケーブル 1 本で接続でき、画面への出力や、デバイスへの給電、モニターに接続した周辺機器との接続がワンステップで行える。さらに、ヘッドセットをぶら下げられる折りたたみ式の専用アームを筐体側面に内蔵している。

販売価格は 72,600 円（税込）より。6 月 6 日発売。

ThinkVision MC60 モニター Web カメラ/ ThinkVision MS30 モニター サウンドバー

ThinkVision MC60 モニター Web カメラは、対応する ThinkVision モニターに組み込んで利用することを想定した専用設計のマイク搭載 Web カメラ。Microsoft Teams 会議に最適な Windows Hello 顔認証対応の FHD 1080p 解像度のカメラを搭載。また、2つのノイズキャンセリングマイクを内蔵し、正面から 60° の範囲のみを集音する 1 人利用に最適なプライベートモードと、180° で集音し複数人でオンライン会議に参加する場合に便利なカンファレンスモードに対応している。スイッチをスライドさせることで容易に切り替えられる。

一方、ThinkVision MS30 モニター サウンドバーは、ThinkVision 専用設計のスピーカー。ThinkVision モ

ニターの上部に差し込むことで、簡単に利用できるようになっている。2W スピーカーを2つ搭載し、クリアな音質を提供する。

ThinkVision MC60 モニター Web カメラと ThinkVision MS30 モニター サウンドバーは、対応する ThinkVision モニターの種類に合わせて、差し込む接続ユニットが長いロングスタンドモデルと短いショートスタンドモデルを提供する。



ThinkVision MC60 モニター Webカメラ



ThinkVision MS30 モニター サウンドバー

(レノボ・ジャパン)

ThinkVision MC60 モニター Web カメラは、ロングとショートともに販売価格は 11,000 円 (税込) より。また、ThinkVision MS30 モニター サウンドバーは、ロングとショートとともに販売価格は 3,850 円 (税込) より。発売日はともに 6 月 6 日。

ThinkSmart View Plus

ThinkSmart View Plus は、Microsoft Teams Displays をプリインストールし、単体でも Microsoft Teams 会議に参加が可能な 27 型オールインワン・コラボレーション端末。プリインストールされた Microsoft Teams Displays は、フリーアドレスやハド

ルルームでの使用に適した共用端末モードと、固定席やホームオフィスでの使用に適した個人専用モードで利用できるようになっている。



ThinkSmart View Plus (レノボ・ジャパン)

4K 解像度対応でオートフレーミングにも対応したカメラに加え、高音質のサウンドバー、約 2.3m 集音マイクを搭載している。ディスプレイ部分にはペン対応のタッチパネルを採用し、「Microsoft Whiteboard を介した手書きでの双方向ディスカッションにも対応。スタイラスペンは、モニター左右側面のマグネット部分に装着でき、紛失を未然に防ぐ。

USB Type-C ケーブル経由でのパススルーモードに対応し、PC と接続することでディスプレイ、オーディオ、カメラを周辺機器としても利用可能となっている。

販売価格は 385,000 円 (税込) より。発売は 6 月下旬以降を予定している。

■テレキューブサービス：三菱 UFJ 銀行と連携し、個室ブースでの資産運用のオンライン相談サービスを開始

(PRTIMES：6 月 9 日)

テレキューブサービス株式会社 (<https://telecube-svc.co.jp/>) (東京都千代田区) は、株式会社三菱 UFJ 銀行 (<https://www.bk.mufg.jp/index.html>) (東京都千代田区) がテレキューブを活用して、資産運用の相

談ができる新たなサービスを期間限定で実施することになった、と発表した。



新丸の内ビルディングのテレキューブ



新有楽町ビルのテレキューブ

テレキューブ（テレキューブサービス）

期間は 2023 年 6 月 14 日（水）から 2023 年 9 月 29 日（金）。利用可能場所は、新丸の内ビルディング、東京ビル TOKAI、新有楽町ビル。利用可能時間は平日 10:00～17:00。利用者は、三菱 UFJ 銀行の口座をお持ちのお客様となる。利用料金は、相談料、ブース利用料とも無料（会員登録も不要）。なお、通信端末および通信環境は、本サービス利用者ご自身での用意が必要となる。また通信費はお客様の負担となる。

三菱 UFJ 銀行は、世の中の変化に合わせてさまざまな店舗やチャンネルを展開してきた。2023 年 2 月には、資産運用のオンライン相談を開始し、自宅での運用相談を可能とするデジタルチャンネルを開設した。

一方、テレキューブは、遮音性・プライバシー保護に優れた個室型ワークブースで、昨今ではビジネス利用にとどまらず、プライベートな相談ごとやコンサルティングなど機密性の高いサービスの利用も増えている。

今回、両社が連携してテレキューブからオンライン

相談を可能にすることで、オフィスで働く方の休憩時間などでも資産運用の相談ができるという新たな顧客体験の実現を目指すとしている。

ビジネス動向-国内

■ヤマハ：遠隔会議向けビデオサウンドバー「CS-800」が「Microsoft Teams」認定を取得

（PRTIMES:6月15日）

ヤマハ株式会社（<https://jp.yamaha.com/products/proaudio/unified-communications/>）（静岡県浜松市）は、同社のビデオサウンドバー「CS-800」が、マイクロソフト社の提供するコラボレーションプラットフォーム「Microsoft Teams」の認定を取得した、と発表。



ビデオサウンドバー「CS-800」（ヤマハ）

テレワークの急速な普及でオフィスから自宅やシェアオフィスへと働く場は多様化し、ビデオ会議や Web 会議など遠隔会議の頻度が増大している。このような状況で企業のオフィス内では会議室にとどまらずオープンスペースなどの空間を利用するケースが増え、さまざまな環境下で安定して高い通話品質を実現すること、誰でも簡単に使用できる利便性との両立が求められているという。また、情報共有を効率化するコミュニケーションプラットフォームとのスムーズな連

携も重要視されている。そこで今回 CS-800 は Microsoft Teams の認定を取得した。

CS-800 は、マイクとスピーカー、カメラ、映像出力 (HDMI) を内蔵した一体型のビデオサウンドバー。ヤマハ独自の音声解析技術とカメラの映像解析技術に AI 技術を掛け合わせ、使用される会議スペースと会議参加者を自動認識した上で、新開発の「Hexa-Microphone」が会議参加者の声を見つけて集音し、認識した映像と音声を周囲の環境に合わせて自動補正することで、安定的かつ高品質な通話体験を提供する。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報 (6月~7月)

「Amazon IVS や Agora で始める [ライブ配信アプリ開発] 勉強会」「元危機管理担当主幹、危機管理防災課長に直接聞く！ 防災 DX の取り組み方」など

会場：オンライン/オンデマンド

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー (6月)

「Webex アプリ 初級」「【利用者向け】今月の Webex アップデート活用方法(43.6)」など

会場：オンライン/オンデマンド (2020 年以降録画)

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回 (プレスリリースと取材に基づく記事のみ) ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト (dtc-forum)

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー (1999 年~最新号) は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2023年6月15日号おわり

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp